平成27年度発達障害に関する教員の専門性向上事業　別紙様式２

大崎上島町立大崎上島中学校の取組

研究テーマ
一人ひとりの教育的ニーズに適応する授業の構築
～　インクルーシブ教育を目指して　～

授業実践①（プラン）

◆第（１）学年（音楽）科　題材名「和楽器の音色に親しもう」
◆本時の目標
旋律の特徴を知り，箏の音色のよさを感じ取って「さくらさくら」を演奏することができる。

◆児童の状況と，それをふまえた指導・支援のポイント

学級全体の状況
〇意欲的に取り組む姿勢
△素早い切り替え
△音楽全体を捉える要素に着目して聴くこと

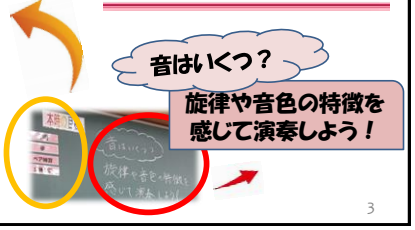
特別な支援が必要な児童の状況
〇落ち着いて授業を受ける姿勢の保持
〇文章を読むこと
△全体の指示で内容を理解すること
△長い文章を書くこと

指導・支援のポイント
・授業のゴールのイメージをもつ
・授業の流れを提示
・生徒にとって分かりやすい「本時の目標」の設定
・スモールステップでの技能習得
・移動場面での位置の固定化
・視覚支援を意識した資料提示

授業実践②実践の具体

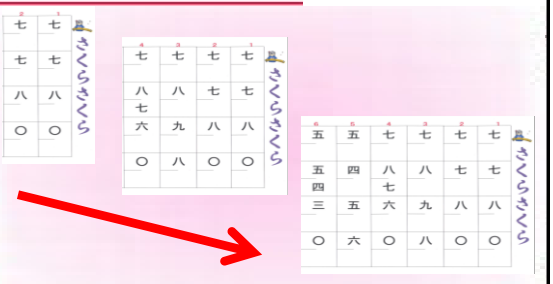
- ゴールのイメージを明確に！！
- 授業の流れを提示
- 生徒にとって分かりやすい「本時の目標」の設定

合唱
箏
ペア練習
全体交流



授業実践②実践の具体

- スモールステップでの技能習得



授業実践②実践の具体

- 移動場面での位置の固定化
- 視覚支援を意識した資料提示

歌
箏

授業実践③成果・課題

授業の流れを提示	学習の見通しをもつことができる。
生徒にとって分かりやすい「本時の目標」の設定	振り返りが明確になる。
技能習得のスモールステップ化	「できた！」の積み重ねで自己肯定感up!
移動場面での位置の固定化	切り替えがスムーズになる。
視覚支援を意識した資料提示	学習内容に注意を集中させることができる。

授業実践④今後の改善点

≪求められている支援について≫

スモールステップの視点では○

視覚支援の視点では△

必要な支援　と　必要でない支援

普及・啓発①拠点教諭の取組

研究部と一体化！

授業の流れを全教科で提示

普及・啓発②拠点教諭の取組

校区内小学校に広める！

大崎上島町教育委員会主催の研修会

特別支援教育コーディネーターを通して

普及・啓発③拠点校の取組

校区内小学校に広める！

大崎上島町教育委員会主催の研修会

生徒指導主事を通して

「個々の持つ特徴を知って指導にあたる必要性」

「生徒指導の在り方が変わる！」

今年度の成果・課題

	成　果	課　題
授業実践	・視覚支援 （流れの提示，資料提示） ・目標の明確化 ・スモールステップでの授業構築 ・空間認知の支援 （移動場面の位置の固定化）	・各教科で必要な支援の吟味 （自立に向けての精選も！）
普及・啓発	・研究部と一体となり，校内に研修報告と「授業の流れ」の全教科提示 ・特別支援教育コーディネーターや生徒指導主事を通して校区内小学校にも普及・啓発	・児童・生徒に必要な支援の小中交流が不十分

次年度への展望

	取組の重点
授業実践	教科別の支援の可能性を探る
普及・啓発	児童・生徒の実態を小中で交流しながら，より適切な支援方法を構築し，地域のモデル校となる！